

問 柴田町では、平成16年度、17年度と2年連続で国民健康保険税の税率引き上げを行ってきた。国の医療制度改革を見ても町民の医療費負担はますます増えていく。そこで何う。

(1) 国民健康保険税の税率引き上げを今年度も考えているのか。

(2) 町民の医療費の負担を助ける減免制度、「申請減免」の見直しはどうか。

(3) 作成するとしていた

窓口負担の減免制度の要綱は。

(4) 医療給付費削減について有効とされている、ジェネリック医薬品について、町としての取り組みをどう考えているか。

答 滝口町長 (1) 平成16・17年度に続き、医療費の伸びから税率引き上げをしなくてはならない状況です。

(2) 申請減免制度は病気や倒産によって所得が前年より5割以上減り、支払いが困難な場合を新た

に規定して、1月1日より施行しています。

(3) 窓口での負担の減免は、国保財源への影響や加入者間の均衡、すでに制度を実施している近隣の自治体の状況も見ながら検討していきます。

(4) ジェネリック医薬品は、医療費抑制効果があり安全も証明されていますが、今後医師会などとも相談して広めていきたいと考えています。



広沢 真 議員

Q 国保税の引き上げを今年も行うのか

A 低所得者対策を進めながら医療費削減に努めます



みやぎ県南中核病院窓口

Q 槻木地区の道路の整備について



大坂三男 議員

A 当該道路の整備を実施します



待たれる車の退避所設置

問 槻木地区の道路の整備や改良、補修等について地域から多くの要望が出ているが、なかなか進捗していない。

現状で大規模な整備事業は無理としても、地域にとって重要で急を要するものについては、こまめに対応していくべきである。

そこで次の2件について何う。

(1) 四日市場地区のJR東北本線沿いの千間堀踏切から四日市場踏切区間

の道路が、砂利道で路面の状況が悪い。舗装できないか。

(2) 町道四日市場21号線は道路の幅が狭く、車のすれ違いができない状況。車の待避所を設置できないか。

答 滝口町長 (1) 当路線は、砂利敷きやグレーダーによる路面整正で維持管理してきましたが、最近利用者が多くなり、車両の交通量が増えてきています。

以前より地元の方々の

要望が強い路線であり、今年度は上槻踏切から槻木駅方面へ約160メートルの舗装を実施する予定です。

(2) この路線は踏み切りや道路の幅員が狭く、地域の方々にはご不便をかけてきました。

拡幅整備が財政事情で不可能な現状です。車両のすれ違いのための待避所を設置し、安全対策と地域住民の利便性向上に努めます。